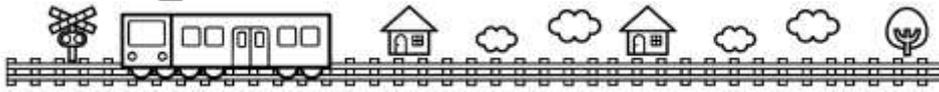


6月

尾久二だより

令和4年5月31日
荒川区立尾久第二幼稚園
園長



自然とのふれあいを通して

園長

春から初夏、梅雨と、子供たちが季節の移り変わりを体感するにはよい時期となりました。園では野菜の栽培や生き物の観察などの活動を通して、子供たちの様々な気付きを促し、自然に親しむことができるようにしています。先月に行った親子遠足では、尾久の原公園の豊かな自然環境の中でオリエンテーリングを行い、植物や生き物に触れたり、草原を走り回ったりするなど、親子で一緒に自然を楽しみとても有意義な時間を過ごすことができました。



また、6月14日（火）には、遠足で4、5歳児がバスに乗って「足立区生物園」に行く予定です。森永製菓のスナック菓子「おとっと」のモデルとなり、人気を呼んでいるカンガルーの子供をはじめ、フクロウやかえる、ウサギなど様々な生き物を見たり触ったりすることができます。生き物たちと触れ合って、子供たちが大きな声を出しながら喜んでいる姿が目に見えます。ぜひ楽しみにしてください。

そして新型コロナウイルスの影響が続く中、気温・湿度ともに上がる季節を迎えます。この時期から増える様々な感染症等や暑さ対策など、子供たちの健康管理には十分気を付けていきたいと思っております。引き続きご協力をお願いいたします。

5月の子供たち ~生き物といっしょ~

ホームページでも少しずつお伝えしています。是非ご覧ください。

亀の世話は子供たちのお仕事です。じっと観察する年中組さん。

「エサたべるかな?」「たべてる??」



子供たちは
「オジャマジャクシ!」
「オジャマジャクシガエル!」
と大喜び♪

←幼稚園にやってきた
モリアオガエルの
オタマジャクシ

園長先生がヘラクレスオオカブトを見せてくれました。
大きさや動きにびっくり!
年長組の子供たちが触ってみましたよ。



6月の保育のねらい



うさぎ組

- 教師や友だちと過ごす中で、自分のしたい遊びを十分に楽しむ。
- 園での生活の仕方が分かり、身の回りの始末を自分でしようとする。
- 梅雨の時期の自然に興味をもつ。

- 教師や友達と一緒に、プール遊びを楽しむ。



りす組

- 梅雨期ならではの活動や生活の仕方を知る。
- 身近な素材に関心をもち、自分なりに表現することを楽しむ。
- 友達との関わりを楽しみ、自分の思いを伝えたり、相手の思いに気付いたりする。



いるか組

- 思いや考えを伝え合いながら、友達と一緒に遊びや生活を進めることを楽しむ。
- 様々な材料や道具を使って、試したり工夫したりしながら遊ぶ楽しさを味わう。
- 梅雨期の自然に関心をもち、変化に気付いたり、分からないことを調べたりする。